7　芸術（美術）

学校番号	3020

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	（無し）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰの授業では、各課題を通して美術作品の主な構成要素となる色と形について学習します。

同じ色や形でも、見え方や感じ方は人に依ってそれぞれ異なるので、各自の感性を大切にして創造的な表現に生かせるよう 主体的に取り組んで欲しい。

また、美術の授業における「鑑賞」は、異なる見方や感じ方をお互いに知ることで、更に視野が広がり知識も深まるので、作品制作と同等にその意義を理解して意欲的に取り組んで欲しい。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
主たる評価方法	＊制作活動の様子 ＊ワークシート ＊鑑賞活動やグループワークの様子	＊制作活動の様子 ＊ワークシート ＊アイデアスケッチ ＊作品	＊制作活動の様子 ＊アイデアスケッチ ＊作品	＊レポート ＊鑑賞活動の様子や発言･発信内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	C	D		
Ⅰ学期	色とトーンの研究	【デザイン】 ・色彩基礎 色の三属性 トーン	○		○		a:色の三属性やトーンについて関心を持ち、その特性や働きを理解しようとしている。 c:混色を工夫し、目標となる色を再現している。	＊制作の様子 ＊作品
		・配色の考察 「室内の配色」を考える 与えられた“居間をモデルにした”ワークシートに、自分で任意に設定したテーマ（ことば）に見合った配色構成を考え、で着色する。		○	○		b:色彩の働きやトーンが与える印象を考え、主題が伝わる表現の構想を練っている。 c:ポスターカラーの特性を生かし、表現方法を工夫して、丁寧且つ計画的に表現している。	＊制作の様子 ＊作品

	抽象画への試み	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ・オートマティズムの手法 を用いた“描かない絵” の作成を通して、抽象的表現ならではの、自由で多様な面白さを味わう。 ①アクリル絵の具とメディウムを用いて、オートマティズムの手法による様々な素材を作る。 ② ①で作成した素材の中から任意に数種類選び、ボード材の上に“自由に”構成し（貼り付け）て、作品を完成させる。 ③完成した作品に、漢字一文字で「題名」をつける ④発表（自作を語る）と　鑑賞	○	○	○	○	a; オートマティズムの手法による様々な素材の作成に興味と関心を持って、且つ創意と工夫を凝らして積極的に取り組んでいる。 b;ボード上に素材を構成する過程において、創造的で効果的な表現を試みている。 c;アクリル絵の具やメディウムの特性を生かし、表現方法を工夫して、丁寧且つ計画的に表現している。 d;制作意図や表現の工夫を明快に述べている。 鑑賞においては、他人の作品の良さや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深めている。	＊制作の様子 ＊作品 ＊鑑賞活動の様子や発言内容

2学期	油画制作「静物画」	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・教科書等で油彩画の作品を鑑賞し、その多様な表現方法を学ぶ。 ・「静物画」の制作 ①デッサン ②構成と構図 ③下絵 ④油彩画制作 ・鑑賞と講評	○	○	○	○ ○	a:油彩画の作品、絵の具や道具に興味を持ち、自身の制作活動に取り組もうとしている。 d:油彩画の作品の多様性を学びその背景にある歴史や文化への理解を深め、そのよさや美しさを味わっている。 b:対象から感じ取ったことを色や形の再現のみに留まらず、画面構成や配色に反映させている。 c:油彩の特性を理解し意図に応じて絵の具や用具の使い方を工夫している。 d:他の生徒の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めている。	*制作の様子 *デッサン *下絵 *作品 *鑑賞活動の様子
夏休み課題	「高校展」鑑賞	【鑑賞】 府内の同年代の生徒達による、多分野にわたる美術・工芸作品の鑑賞を通じて、美術・工芸に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。				○	d:同年代の生徒の作品鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。	*鑑賞レポート

3学期	立体オブジェ「メタモルフォーゼ」	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・楽しめる立体、楽しみな がら作る立体の制作。 ①ワークシートでアイデアスケッチとストーリー展開の考察。 ②資料集め（写真資料等の収集 ③制作 ④彩色して仕上げる ⑤鑑賞と講評	○	○	○	○	a:現代美術における一表現手法である“メタモルフォーゼ”の意味を理解し、より良い主題とストーリー展開を求め、模索しながら作業を進めている。 b:課題の趣旨を理解し、創造的で効果的な表現を試みている。 c:素材である紙粘土の特性と道具を用いた各工程を理解し、効率よく丁寧な作業で完成度を高めている。 d:他の生徒の作品を鑑賞し、そのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めている。	*ワークシート ～アイデアスケッチ *制作の様子 *作品 *鑑賞活動の様子
	「音楽会&造形二科展」鑑賞	【鑑賞】 校内の他分野選択の作品鑑賞を通じて、芸術に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。				○	d:音楽や書道など、他分野を学ぶ生徒の作品鑑賞を通じて、美術にはない良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。	*鑑賞レポート

◇表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度
b:発想や構想の能力
c:創造的な技能

d:鑑賞の能力

◇原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けて行なう観点）について○を付けている。